



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月8日

上場会社名 V Tホールディングス株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 7593 URL http://www.vt-holdings.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 一穂  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山内 一郎 TEL 052-203-9500  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	28,551	2.7	884	△38.4	929	△32.9	511	△31.6
26年3月期第1四半期	27,789	5.5	1,435	13.0	1,386	18.6	747	8.5

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 534百万円 (△33.6%) 26年3月期第1四半期 804百万円 (30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	4.35	—
26年3月期第1四半期	6.91	6.86

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。このため当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	85,603	28,653	32.2	234.57
26年3月期	82,337	28,955	33.9	237.24

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 27,597百万円 26年3月期 27,912百万円

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。このため当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	16.00	—	21.00	37.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。なお、平成26年3月期については当該株式分割前の実際の配当の額を記載しております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	60,500	0.1	4,100	1.3	4,000	1.4	2,200	1.8	18.70
通期	135,000	1.7	10,300	2.2	10,100	1.2	5,400	5.3	45.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	119,381,034株	26年3月期	119,381,034株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	1,726,578株	26年3月期	1,726,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	117,654,464株	26年3月期1Q	108,199,680株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。このため当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

国内の新車販売市場は前年度は好調に推移していましたが、今年の4月から消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響等により前年比でマイナスに転じ、足許はほぼ前年並みに回復しているものの、当第1四半期累計では前年同期を1.9%下回る結果となりました。

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日までの3ヶ月間）における当社グループの中核事業であります自動車販売関連事業の状況は、既存会社ベースではほぼ前年並みでしたが、新規連結子会社が1社増加したこともあり、新車、中古車を合わせた自動車販売台数は17,119台と、前年同期に比べ240台（1.4%）増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、連結売上高は285億51百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は8億84百万円（前年同期比38.4%減）、経常利益は9億29百万円（前年同期比32.9%減）、四半期純利益は5億11百万円（前年同期比31.6%減）となりました。

## セグメントの業績概況

## [自動車販売関連事業]

新車部門では、ホンダ車の販売台数が1,640台（前年同期比20.5%増）、日産車の販売台数が3,565台（前年同期比2.7%減）、その他の外国車を含めた当社グループの新車販売台数は6,004台（前年同期比4.8%増）となり増収増益を確保いたしました。

中古車部門では海外への輸出台数は2,278台（前年同期比1.8%増）と堅調に推移しましたが、国内の中古車市況の悪化の影響を受け国内販売が前年を若干割り込んだため、当社グループの中古車販売台数は11,115台（前年同期比0.3%減）となり、収益的にも減益となりました。

サービス部門では、点・車検、修理、手数料収入等の収益性向上に注力しましたが、特殊要因で車検入庫が減少し、若干の減収減益となりました。

レンタカー部門では既存店の稼働が堅調に推移し、ほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、売上高は278億89百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は9億42百万円（前年同期比33.3%減）となりました。

## [住宅関連事業]

当社グループでは「建築家と建てる家」をテーマに高級注文住宅を提供しており、市場ニーズの高まりとともに受注棟数・竣工棟数は堅調に推移しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、受注は各エリアとも好調に推移しており、また、業務の効率化や工事期間の短縮等に注力し収益率の改善に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は6億25百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は24百万円（前年同期比25.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は856億3百万円となり、前連結会計年度末823億37百万円と比較し32億66百万円増加いたしました。流動資産は334億34百万円となり、17億91百万円増加いたしました。これは主に商品の増加、現金及び預金の減少によるものであります。固定資産は521億69百万円となり、14億74百万円増加いたしました。これは主に土地、建設仮勘定などの有形固定資産、のれんの増加によるものであります。

負債合計は569億50百万円となり、前連結会計年度末533億82百万円と比較し35億67百万円増加いたしました。流動負債は393億43百万円となり、16億7百万円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加、買掛金、未払法人税等の減少によるものであります。固定負債は176億6百万円となり、19億60百万円増加いたしました。これは主に長期借入金、リース債務の増加によるものであります。

純資産合計は286億53百万円となり、前連結会計年度末289億55百万円と比較し3億1百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期 第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日付け「決算短信」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,657	4,750
受取手形及び売掛金	4,593	3,858
商品及び製品	10,330	14,719
仕掛品	328	182
原材料及び貯蔵品	69	75
その他	8,686	9,869
貸倒引当金	△22	△22
流動資産合計	31,642	33,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,861	17,932
減価償却累計額	△11,331	△11,295
建物及び構築物（純額）	6,530	6,637
機械装置及び運搬具	3,459	3,555
減価償却累計額	△1,934	△1,984
機械装置及び運搬具（純額）	1,524	1,571
土地	17,294	17,576
その他	9,279	9,876
減価償却累計額	△4,649	△4,682
その他（純額）	4,630	5,193
有形固定資産合計	29,979	30,978
無形固定資産		
のれん	11,696	11,945
その他	544	535
無形固定資産合計	12,240	12,480
投資その他の資産		
投資有価証券	5,417	6,321
その他	4,328	3,350
貸倒引当金	△1,271	△961
投資その他の資産合計	8,474	8,709
固定資産合計	50,694	52,169
資産合計	82,337	85,603

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,367	12,367
短期借入金	6,302	13,303
未払法人税等	1,968	197
賞与引当金	859	418
その他	13,238	13,056
流動負債合計	37,736	39,343
固定負債		
社債	1,146	1,126
長期借入金	8,411	10,086
役員退職慰労引当金	547	542
退職給付に係る負債	761	771
資産除去債務	301	302
その他	4,478	4,777
固定負債合計	15,645	17,606
負債合計	53,382	56,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,297	4,297
資本剰余金	2,832	2,832
利益剰余金	20,421	20,104
自己株式	△98	△98
株主資本合計	27,452	27,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	281	283
土地再評価差額金	29	29
為替換算調整勘定	148	149
その他の包括利益累計額合計	460	462
少数株主持分	1,042	1,055
純資産合計	28,955	28,653
負債純資産合計	82,337	85,603

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	27,789	28,551
売上原価	21,972	23,015
売上総利益	5,816	5,535
販売費及び一般管理費	4,381	4,650
営業利益	1,435	884
営業外収益		
受取賃貸料	30	18
持分法による投資利益	29	50
その他	42	79
営業外収益合計	101	148
営業外費用		
支払利息	107	72
為替差損	3	1
その他	39	28
営業外費用合計	150	103
経常利益	1,386	929
特別利益		
固定資産売却益	7	-
投資有価証券売却益	3	2
貸倒引当金戻入額	4	-
特別利益合計	15	2
特別損失		
固定資産除却損	12	24
事務所移転費用	7	-
その他	3	15
特別損失合計	23	40
税金等調整前四半期純利益	1,377	892
法人税、住民税及び事業税	206	257
法人税等調整額	393	101
法人税等合計	600	359
少数株主損益調整前四半期純利益	777	532
少数株主利益	29	20
四半期純利益	747	511



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	777	532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	0
為替換算調整勘定	34	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	26	1
四半期包括利益	804	534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	776	514
少数株主に係る四半期包括利益	27	20

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,377	892
減価償却費	738	800
のれん償却額	227	233
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△426	△467
支払利息	107	72
売上債権の増減額(△は増加)	1,163	314
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,551	△3,851
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,626	△3,275
その他	406	△347
小計	1,515	△5,630
利息及び配当金の受取額	74	70
利息の支払額	△102	△68
法人税等の支払額	△2,652	△2,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,164	△8,222
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△454	△1,554
有形固定資産の売却による収入	1,336	369
投資有価証券の取得による支出	△8	△313
投資有価証券の売却による収入	9	10
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△389
貸付けによる支出	△4	△2
貸付金の回収による収入	17	18
その他	△42	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	853	△1,860
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,073	6,522
長期借入れによる収入	900	2,800
長期借入金の返済による支出	△1,001	△684
配当金の支払額	△595	△815
リース債務の返済による支出	△551	△620
その他	2	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	827	7,173
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	525	△2,912
現金及び現金同等物の期首残高	4,184	7,597
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20	5
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,689	4,690

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車販売 関連事業	住宅 関連事業				
売上高						
外部顧客への売上高	27,190	561	37	27,789	—	27,789
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	15	188	215	△215	—
計	27,202	577	225	28,004	△215	27,789
セグメント利益	1,411	19	1	1,432	2	1,435

(注)1 その他は、グループ全社管理部門等であります。

2 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車販売 関連事業	住宅 関連事業				
売上高						
外部顧客への売上高	27,889	625	35	28,551	—	28,551
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	394	191	597	△597	—
計	27,901	1,020	227	29,148	△597	28,551
セグメント利益又は損失(△)	942	24	△45	920	△35	884

(注)1 その他は、グループ全社管理部門等であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、すべてセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。